

調査2の集計結果

| 分類 | 委員の意見 | 事務局コメント |
|------|--|--|
| 評価 | 資料1の自己評価がC「現状維持・継続」が多い状況ですが、謙遜して評価が低いのか、本当に意欲がなく仕事のマンネリ化に市の職員は陥ってしまっているのか不安になりました。自己評価が全てAになる状況になれる意識改革を望みます。 | 自己評価(担当課評価)については、旧計画(H27～H31)では取組状況による評価でしたが、現行計画(R2～R6)では客観的な評価とするため資料2のように成果による評価に変更しています。 |
| | 資料2「次年度以降の方向性」もSは1つ、他はA、Bが多く、目標の設定が低いのではないのでしょうか。プラス思考の評価方法にしてもいいのではないのでしょうか。本当に頑張っている姿があらわれるような「担当課の評価」や「次年度以降の方向性」の選択肢にしてほしいと感じています。 | 「次年度以降の方向性」については、事業の必要性や重要度を鑑み、前向きな姿勢で検討するよう各課に求めています。 |
| | 紙面だけの評価は難しい。評価の方は自課の為良い所を表面に出している為、進める上の苦労や難易度、問題点、課題が有ると判断しやすくなる。 | 次年度の各課調査から、課題や問題点等の回答欄の新設を検討します。 |
| 取組提案 | 健康づくり、健康寿命の延伸をはかるには、取組1、2にある口腔ケア講座をさらに広げる必要があります。つまり健康な高齢者は、入れ歯であっても自分の口で咀嚼し、まんべんなく栄養をとっています。さらに高齢者の口腔ケアは認知症の予防の観点からも重要といわれています。そこで市の指導のもとに、各高齢者クラブが「口腔ケア講座」を開催してはどうでしょうか。その際の講師は開催する地域の歯科医師にお願いし、具体的に治療効果をあげる方法をとってはどうか。ただ、重要なことは講師の条件として、インプラントなど高負担な治療法を避けて健康保険をベースに、こまめに治療していただける必要があることです。私は85歳。入れ歯ですが毎月歯科医に通院、何でも食べています。 | ご意見のとおり、健康寿命の延伸には口腔ケアは重要な要因のひとつです。いただいたご提案は、担当課にご報告させていただきます。 |
| 委員会 | 今回は書面での開催でしたが、通信機器がある時代なのでZoom、Meetを活用して遠隔で委員会を実施してもよかったですのではないのでしょうか。 | 今後の委員会の開催について、議題の内容や感染状況等から総合的に開催方法を検討します。 |
| | 前年度実績の評価をこの時期に行う今のやり方では、当該年度の評価を基にした翌年度活動の見直しが困難で予算作成時に反映させることがスケジュール的に困難であるため、工夫が必要と思われる。例えば、上半期の事業実績等を基に中間評価を行ってはどうか。 | 年度途中ででの中間評価については、翌年度の実施計画等へ反映可能な時点ではほとんどの事業が未完であるため、どの程度の評価が可能か検討します。全体としては、最低限、翌々年度予算には確実に反映ができるよう、各課調査及び委員会開催の時期を早める等の調整をしていきます。 |

調査2の集計結果

| 分類 | 委員の意見 | 事務局コメント |
|-------|---|---|
| コロナ対策 | <p>新型コロナウイルス感染症により、取組について変更が必要になっているのではないのでしょうか。困っている方に今まで以上に手が届かなくなっているため行政の力が必要です。あきる野市に住んで良かったとなるようお願いいたします。</p> | <p>地域保健福祉計画の基本理念、基本目標、施策、施策の展開については、「めざす姿」や方向性であり、新型コロナウイルス感染症の影響によって変更になるものではないと考えます。一方で、取組については、事業の実施方法の変更等により、変更が必要になる場合があると認識しています。コロナ禍での事業の実施については、必要性や中止した場合の影響等を検討し、実施する場合には、規模縮小や消毒・ソーシャルディスタンスの確保等の感染症対策を行っているほか、場合により事業の中止や延期等の対応をしていますが、今後の感染拡大等の状況により、実施方法を柔軟に変更することも必要と考えます。実施方法を変更した場合には、必要により、計画における取組の変更を検討していきます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症による各事業への影響や実施方法の変更等については、来年度に行う令和2年度事業の各課調査で顕在化してくるものと想定しています。この調査結果を速やかに評価指標等の見直しに反映できるよう、各課調査及び委員会開催の時期を調整してまいります。</p> <p>集合型の取組（講演等）については、実施している各課へ委員会の意見を報告し、実施方法を柔軟に見直して、集団型の取組の利点を損なわないよう、また、福祉の増進が滞ることのないよう努めます。</p> <p>指導検査の感染症対策については、担当係に確認したところ、感染症対策を踏まえた実施計画を立てていましたが、当初は通知に記載しておらず通知後に口頭で調整していたとのこと。現在は通知に記載するとともに、事業所と協議をして会場の調整等を行っています。今後、指導検査をはじめとした事業の実施に当たっては、関係各所の事情にも配慮しつつ、コロナ禍においても事業の質を確保できる方法を模索しながら、進めてまいります。</p> |
| | <p>新しい行動様式が提唱され、コロナ禍を踏まえた社会・生活環境や価値観の変化に対応すべく、柔軟な見直しが必要と考える。例えば、集合型の講座実施を計画からオンラインによる実施に変更し、講座内容を「タブレット・スマホ活用講座」などとしてオンライン講座を受けられない高齢者を拾い上げることで、介護予防の取組を継続できるだけでなく、高齢者が新たな生活機能（コミュニケーションツール）を獲得できると思われる。「計画は立てたがコロナ禍により実施できなかった」を避けるよう、計画の柔軟な見直しができる仕組み・評価指標の見直しが必要と考えます。</p> | |
| | <p>コロナ中の活動には、集団の活動よりも訪問の手間が増加していると思います。集団の行事の利点は、他の人の意見や質問が聞けるということもあります。専門家が作ったパンフレットの他に、そんなことをまとめてみともうどうでしょう。</p> | |
| | <p>介護サービス事業所から聞いた話だが、市から届いた指導検査実施の通知に、感染症対策についての記載がなく、来所人数や時間なども従前と変わらず、対策が不十分ではとの声があった。市に問い合わせたところ、検査実施場所や事前提出資料については見直しが図られたとのこと、その対応については感謝している。</p> <p>しかしながら、指導検査は利用者、保険者だけでなく事業所にとっても有益なものであるはず。昨今のコロナ禍において、事業所では重症化リスクの高い高齢者と接する上で「感染させてはならない・してはならない」という使命感を抱きながら、国や都の感染症対策ガイドラインに記載の「可能な限り外部からの来訪は避けていただく」等に従い細心の注意を払っています。</p> <p>事業所は精神的にも肉体的にも大きな負担のもとでサービスを提供し続けているので、ぜひ配慮をいただきたい。</p> | |

調査2の集計結果

| 分類 | 委員の意見 | 事務局コメント |
|-----|---|---|
| その他 | <p>皆で楽しく地産地消ができ、地域の人が明るく自然を生かして人生を謳歌できるような委員会運営を考えていきたいと思えます。</p> <hr/> <p>あきる野市地域保健福祉計画策定・推進委員会の委員として選んでいただけただけことを感謝しています。ただ、私としては、前向きで実りある意見・提言が出来なかったことを反省しております。そんな中で事務局の方々の努力や苦勞がしのばれます。本当に良く皆さんの拙い意見をとりまとめ、あきる野市地域保健福祉計画書が出来つつあるのを喜んでます。2年間ありがとうございました。</p> | <p>あきる野市の地域保健福祉の向上のため、さまざまな視点からご提案をいただきありがとうございます。 今後とも、ご指導ご協力の程よろしくお願いいたします。</p> |